

研究成果報告書 (掲載期間 2024. 11. 1-2026. 3. 31)

学術書

- (1) 伊藤僚:ランニング学会:ランニング学事典, 真冬のレースと防寒対策, 朝倉書店, 2025.

審査学術論文

- (1) Ryo ITO, Naoyuki YAMASHITA: Moderately cool environment with rain and wind increases cold strain and energy expenditure via carbohydrate oxidation during running exercise, The journal of sports medicine and physical fitness, 65, 2025, 2, pp. 180-187.
- (2) Yasuhiro MIMURA, Keichi HIGUCHI, Misako YAMAGISHI, Ryo ITO: A study on spatial exploration of elderly drivers at unsignalized intersections considering road and traffic conditions and driver's physical function, International association of traffic and safety sciences, 49, 2025, pp. 314-323.
- (3) 伊藤純, 樋口恵一, 三村泰広, 山岸未沙子, 伊藤僚, 村上滉一: 高齢者運転者における無信号交差点走行時の脳活動に関する基礎研究, 交通工学論文集, 11, 2025, 2, pp. 163-169.

学会発表

- (1) 伊藤僚, 山下直之, 刑部純平: 運動前の皮膚冷却が低酸素吸入下で運動中のヒトのエネルギー代謝及び筋活動に及ぼす影響, 第 79 回日本体力医学会大会, 2025 年 9 月, 草津.
- (2) 刑部純平, 山根基, 伊藤僚, 松岡大介, 松本孝朗: 夏季屋外テニス授業時におけるベスト型ファン付き作業服着用が主観的温度感覚に及ぼす影響, 第 63 回日本生気象学会大会, 2024 年 11 月, 東京.
- (3) 刑部純平, 山根基, 伊藤僚: 静的ストレッチングおよび振動フォームローリングの長期介入効果とディトレニングの影響, 東海体育学会第 71 回大会, 2024 年 11 月, 東京.